

開講年度・学期	2017年度・前期	授業形態	講義
科目名	政治学特講(東南アジアの国際関係)	科目ナンバー	JAPOL3310
英語表記	Special Lecture on Political Science: International relations in Southeast Asia	担当教員	永井 史男
単位数	2		

科目の主題

東南アジアの国際関係

授業の到達目標

第二次世界大戦後の東南アジアの国際関係を時代順に追いながら、国民国家と地域主義の生成、及びその間の協調と緊張関係を理解する。

授業内容・授業計画

講義は大きく、ASEANが結成(1967年)されるまでの東南アジア国際関係史と、ASEANが成立したあとASEANの発展の2つの柱からなる。前半は植民地化・脱植民地化と国民国家の誕生が主題であり、後半は東南アジア諸国連合(ASEAN)の結成と発展を、ASEAN加盟国同士の関係と東南アジア域外の大国(中国、日本、アメリカなど)との関係からをマクロ的に理解する。

第1回	はじめに
第2回	東南アジア諸国の概観—地理と歴史
第3回	東南アジア諸国の概観—伝統国家論
第4回	東南アジア諸国の概観—植民地国家と「東南アジア」の再編
第5回	東南アジアの脱植民地化(1)—総論
第6回	東南アジアの脱植民地化(2)—第1次インドシナ紛争
第7回	東南アジアの脱植民地化(3)—インドネシア独立
第8回	東南アジアの脱植民地化(4)—マラヤ連邦からマレーシアへ
第9回	ベトナム戦争
第10回	ASEANの結成(1960年代)
第11回	初期ASEAN(1970年代)
第12回	カンボジア紛争(1980年代)
第13回	ASEANの拡大と深化(1990年代)
第14回	ASEAN憲章と「ASEAN共同体」(2000年代)
第15回	まとめ

<p>事前・事後学習の内容</p> <p>事前に予習する教科書の該当範囲は、授業中に指示する。事後学習に関する指示は、講義中に挿入するレジュメの末尾に記載しているので、そちらを参照すること。</p>
<p>評価方法</p> <p>期末試験の結果のみで評価する。小テストは行わないが、指定した文献リストの中から適宜1冊選び、レポート執筆の機会を与える。レポート提出は義務的ではないが、レポートの出来栄に応じて、成績評価に反映させる。</p>
<p>受講生へのコメント</p> <p>例年、試験直前のときだけ来てノートだけで単位を取得しようとする者がいるが、一夜漬けで単位が取れるほど甘い授業ではないので、そのつもりで出席（あるいは欠席）されたい。</p>
<p>教材</p> <p>中野亜里他『入門 東南アジア現代政治史』（新版）福村出版、2016年 清水一史他編『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房、2011年</p>
<p>その他</p> <p>講義中にレジュメと参考資料を配布する。また、受講生の声を講義に反映させるため、中間アンケートを実施する。</p> <p>関連科目：国際政治</p>
<p>履修可能最低年次</p> <p>3年次生以上</p>